

大田区新基本計画

大田区の近年の人口・世帯数動向分析

目次

1.人口動態	3
2.世帯数	10
3.出生・死亡	12
4.転入・転出	17

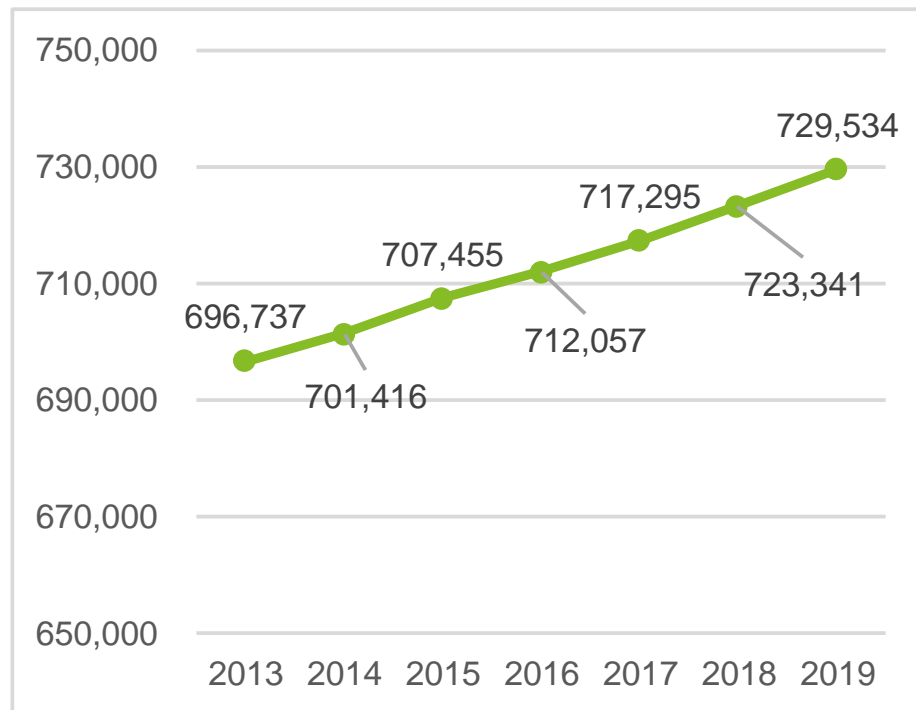
1. 人口動態

1.人口動態 1-1.総人口(増減率、推移、他区比較)

総人口の推移

- 2019年1月時点の住民基本台帳の総人口は、約73万人となっている。
- 近年は順調に人口が増加しており、2014年1月からの5年間で約3万人増加した。
- 人口は日本人・外国人ともに増加しており、特に外国人人口の伸びが著しい。

	日本人		日本人 小計	外国人		外国人 小計	総計
	男	女		男	女		
2014	342,266	340,605	682,871	8,602	9,943	18,545	701,416
2019	351,202	354,133	705,335	11,451	12,748	24,199	729,534
増減	8,936	13,528	22,464	2,849	2,805	5,654	28,118
増減率	3%	4%	3%	33%	28%	30%	4%



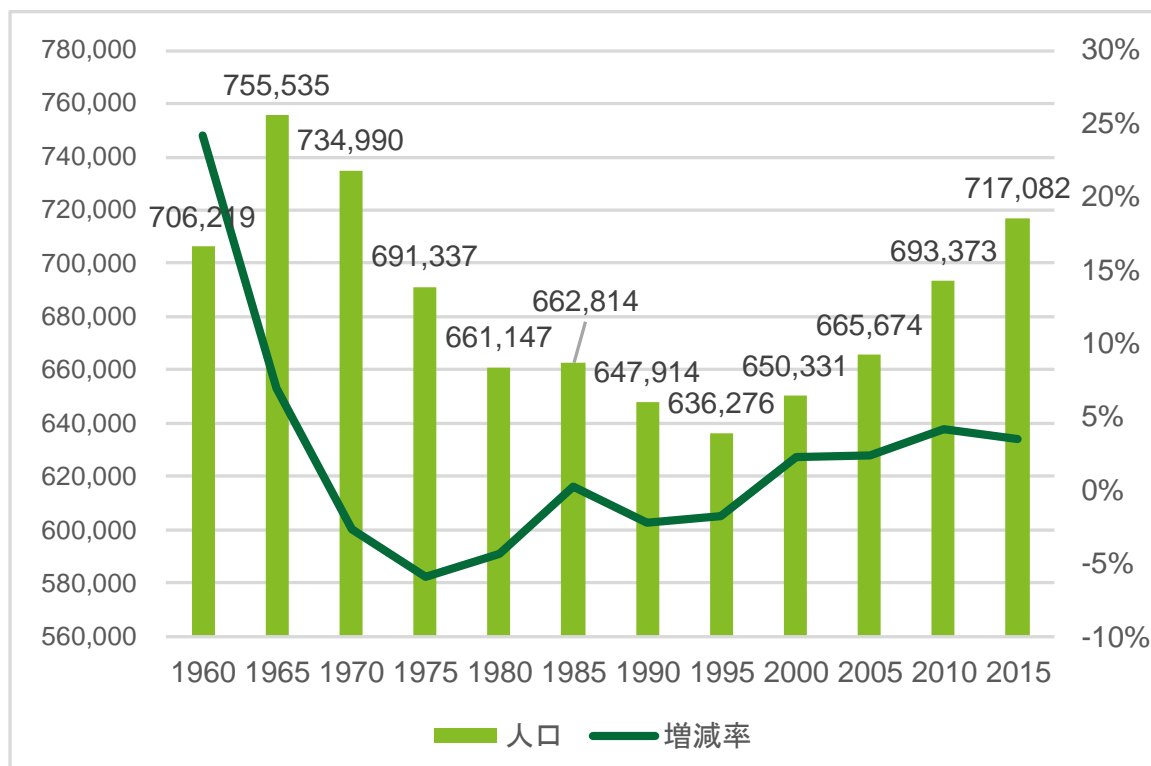
出所:住民基本台帳(各年1月1日時点)

1.人口動態 1-1.総人口(増減率、推移、他区比較)

総人口の推移

- 国勢調査では、総人口は1965年における約75万5千人のピークまで、急激な増加を続けた後は減少傾向にあった。
- その後、1995年の約63万6千人まで減少して以降、再び増加傾向にある。

	人口	増減率
1950	400,406	—
1955	568,498	42%
1960	706,219	24%
1965	755,535	7%
1970	734,990	-3%
1975	691,337	-6%
1980	661,147	-4%
1985	662,814	0%
1990	647,914	-2%
1995	636,276	-2%
2000	650,331	2%
2005	665,674	2%
2010	693,373	4%
2015	717,082	3%

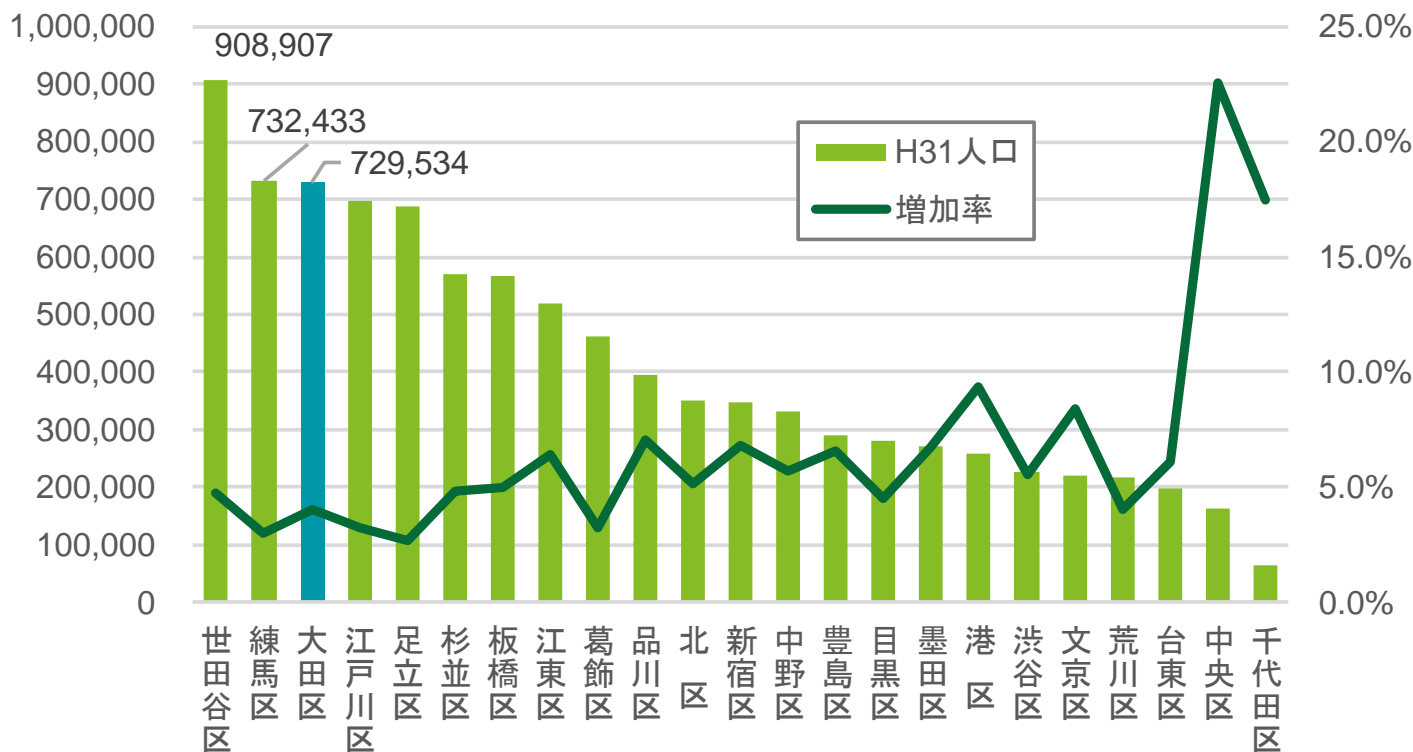


1.人口動態 1-1.総人口(増減率、推移、他区比較)

23区人口の比較

- 大田区の人口は、東京23区の中で3番目に多くなっている。
- 直近5年の人口増加率では、元々の人口が多いため、19位となっているが、人口2位の練馬区より増加率は高く、今後大田区が人口2位になることも考えられる。

区	H31人口	5年増加率
世田谷区	908,907	4.8%
練馬区	732,433	3.0%
大田区	729,534	4.0%
江戸川区	698,031	3.2%
足立区	688,512	2.7%
杉並区	569,132	4.8%
板橋区	566,890	5.0%
江東区	518,479	6.4%
葛飾区	462,591	3.2%
品川区	394,700	7.0%
北区	351,976	5.2%
新宿区	346,162	6.8%
中野区	331,658	5.7%
豊島区	289,508	6.6%
目黒区	279,342	4.5%
墨田区	271,859	6.8%
港区	257,426	9.4%
渋谷区	226,594	5.6%
文京区	221,489	8.4%
荒川区	215,966	4.0%
台東区	199,292	6.1%
中央区	162,502	22.5%
千代田区	63,635	17.5%



出所: 東京都の統計 住民基本台帳による東京都の世帯と人口(町丁別・年齢別)

1.人口動態 1-2.外国人人口

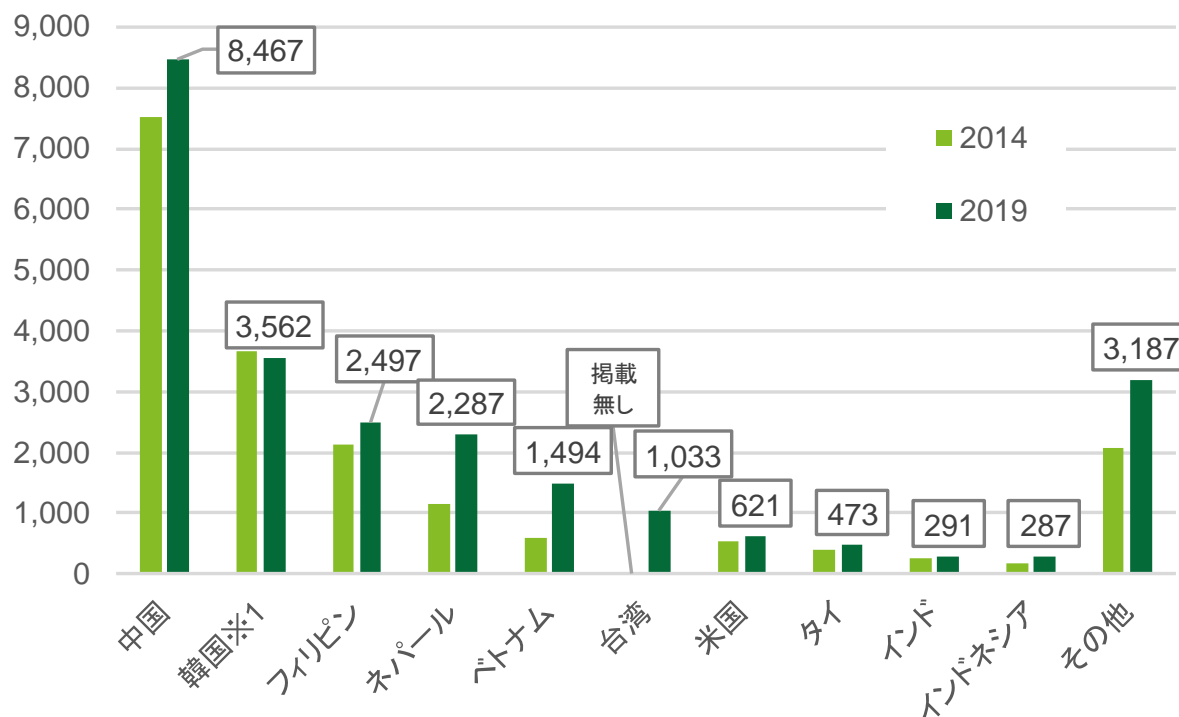
国籍別人口の推移(住民基本台帳ベース)

- 大田区の外国人人口は、中国人が約8千5百人で最多、次いで韓国人が約3千6百人、フィリピン人が約2千5百人と多くなっている。
- 過去5年の増減では、集計上の変更があった韓国人・台湾人を除いて増加している。特にベトナム人が2.5倍、ネパール人が約2倍と大きく増加しており、多言語化対応等が必要となっている。

国・地域	2014	2019	増減率
総数	18,545	24,199	30.5%
中国	7,513	8,467	12.7%
韓国※1	3,671	3,562	-3.0%
フィリピン	2,120	2,497	17.8%
ネパール	1,146	2,287	99.6%
ベトナム	586	1,494	154.9%
台湾	掲載無し※2	1,033	—
米国	531	621	16.9%
タイ	403	473	17.4%
インド	247	291	17.8%
インドネシア	177	287	62.1%
その他	2,151	3,187	48.2%

※1 2014年は「韓国・朝鮮」

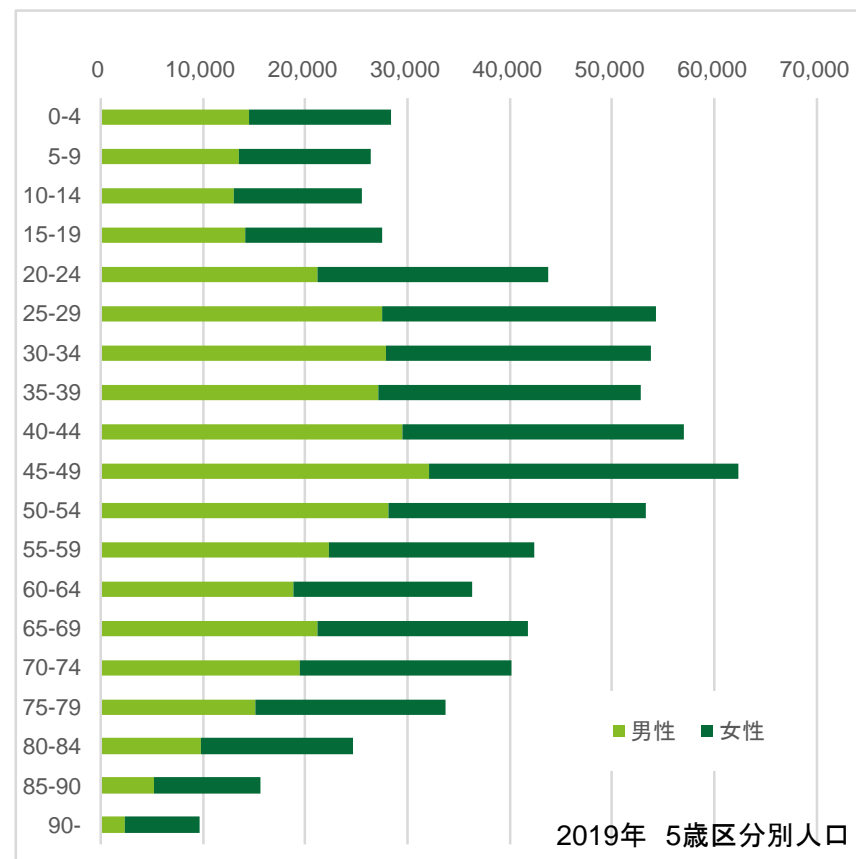
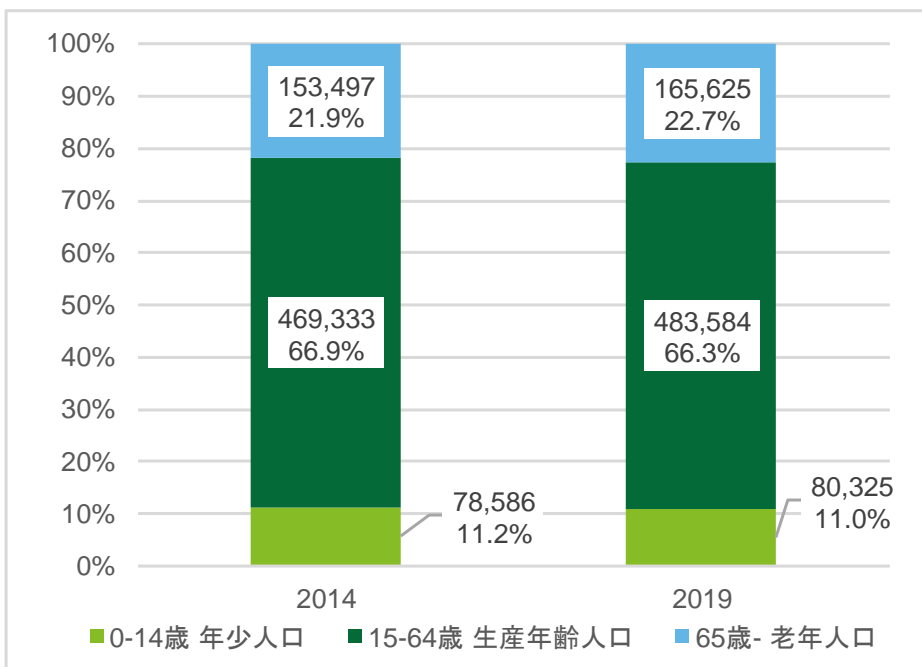
※2 2014年は中国に含まれる



1.人口動態 1-3.年齢別人口

年齢3区分別・5歳区分別人口

- 過去5年において、年少人口、老年人口がいずれも増加している。
- 構成比で見ると、年少人口・生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向にあり、わずかながら少子高齢化が進んでいることが伺える。
- 2019年の5歳区分別人口では、45-49歳が最多で、続いて40-44歳が多く、40代中心となっている。
- また、15-19歳から20-24歳で大きく増加しており、就職時の若者の流入が考えられる。



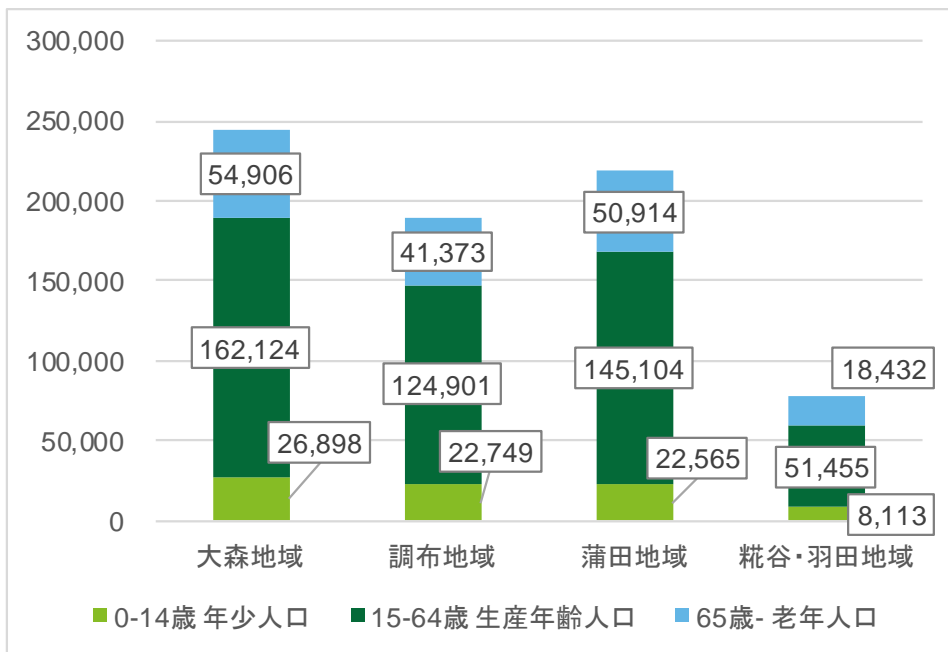
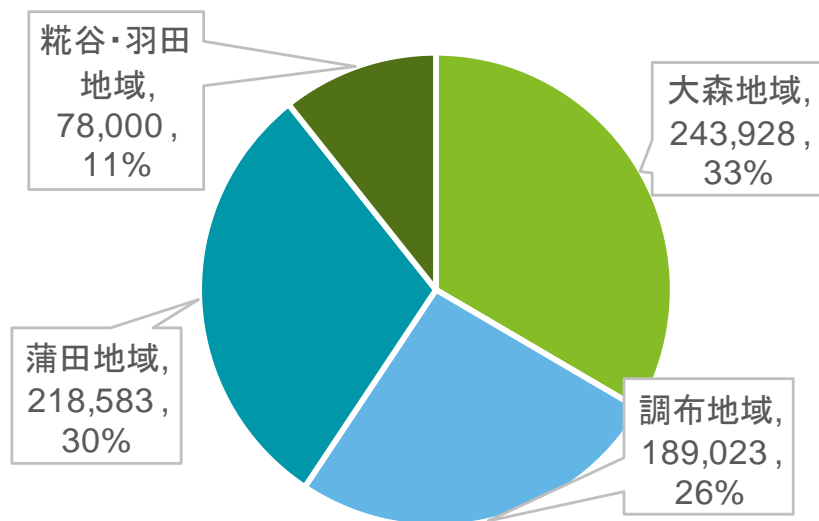
出所:住民基本台帳(各年1月1日時点)

1.人口動態 1-4.地域別人口

地域別人口の比較

- 「大森地域」「調布地域」「蒲田地域」「糎谷・羽田地域」の4地域に分けて人口を整理した。
- 「大森地域」が約24万4千人で一番多く、「糎谷・羽田地域」が7万8千人で一番少なくなっている。
- 年齢別の人口構成では、「調布地域」の年少人口比率が高く、老年人口比率が低い傾向があるが、地域による差は少ない。

	大森地域		調布地域		蒲田地域		糎谷・羽田地域	
0-14歳 年少人口	26,898	11.0%	22,749	12.0%	22,565	10.3%	8,113	10.4%
15-64歳 生産年齢人口	162,124	66.5%	124,901	66.1%	145,104	66.4%	51,455	66.0%
65歳- 老年人口	54,906	22.5%	41,373	21.9%	50,914	23.3%	18,432	23.6%
合計	243,928	100.0%	189,023	100.0%	218,583	100.0%	78,000	100.0%



出所: 住民基本台帳(2019年1月1日時点)

2. 世帯数

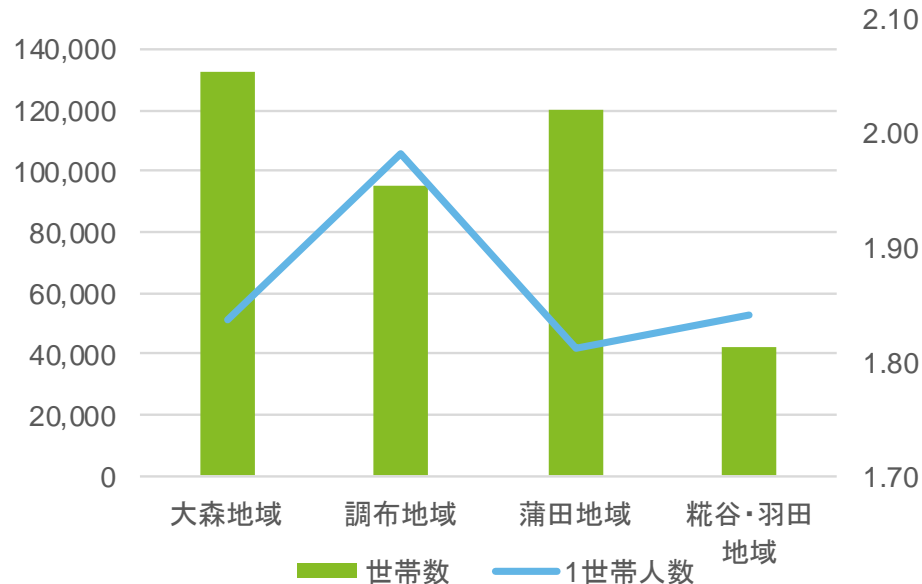
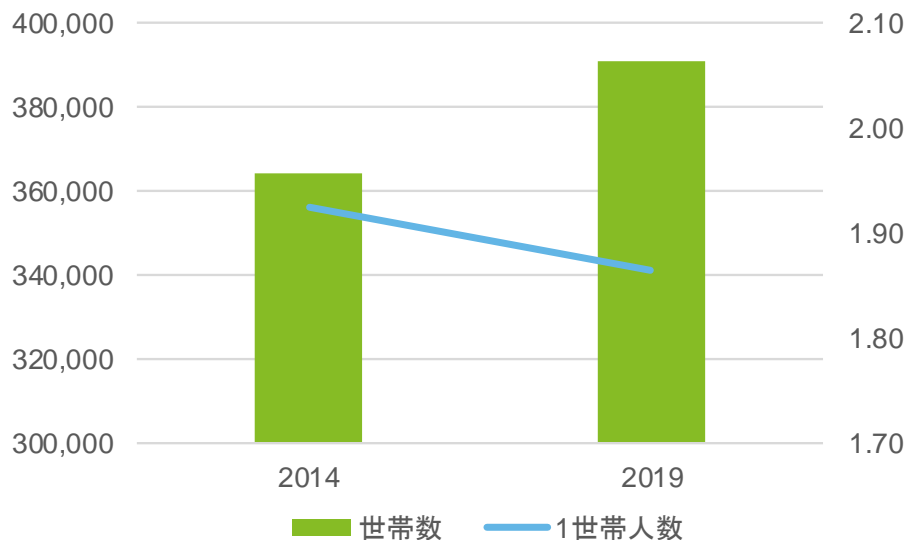
2. 世帯数 : 2-1世帯数

転入・転出数及び社会増減の推移

- 2019年の世帯数は約39万1千世帯で、1世帯人数は1.87人となっている。
- 単身世帯の増加などにより、1世帯人数は減少傾向にある。
- 地域別では、1世帯人数が多い調布地域は家族世帯が多く、1世帯人数が少ない蒲田地域では単身世帯が多いと考えられる。

	世帯数	人口数	1世帯人数
2014	364,423	701,416	1.92
2019	391,146	729,534	1.87

	世帯数	人口数	1世帯人数
大森地域	132,801	243,928	1.84
調布地域	95,393	189,023	1.98
蒲田地域	120,592	218,583	1.81
糀谷・羽田地域	42,360	78,000	1.84



出所: 大田区HP 世帯と人口(各年1月1日時点)

3. 出生・死亡

3. 出生・死亡： 3-1 出生者数・合計特殊出生率

出生の推移

- 出生数は一時的な減少があるものの長期的には微増傾向にあり、15年間で約300人増加している。
- 合計特殊出生率も2002年の1.04から2015年の1.21にまで回復したが、2017年は1.17に減少している。

	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
出生者数	5,349	5,326	5,342	5,198	5,421	5,532	5,550	5,691	5,527	5,570	5,546	5,740	5,803	5,897	5,732	5,658
合計特殊出生率	1.04	1.03	1.03	1.00	1.04	1.07	1.08	1.12	1.10	1.12	1.13	1.17	1.19	1.21	1.18	1.17



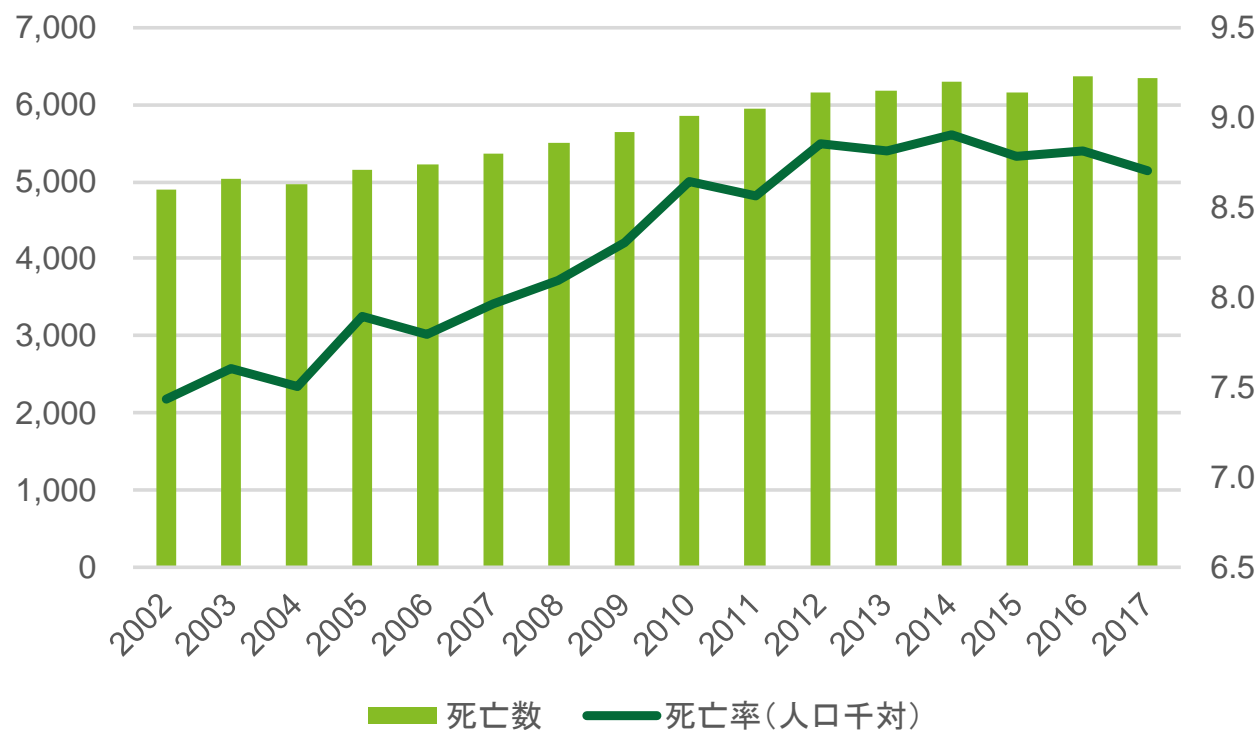
出所：東京都人口動態統計年次推移(区市町村別)

3. 出生・死亡： 3-2死亡者数

死亡数の推移

- 死亡数は長期的に増加傾向にあり、15年間で約1,400人増加している。
- 合わせて、人口千人に対する死亡率が上昇傾向にある。

	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
死亡数	4,893	5,047	4,977	5,165	5,226	5,374	5,505	5,651	5,860	5,949	6,167	6,181	6,295	6,160	6,364	6,339
死亡率	7.4	7.6	7.5	7.9	7.8	8.0	8.1	8.3	8.6	8.6	8.9	8.8	8.9	8.8	8.8	8.7



出所:東京都人口動態統計年次推移(区市町村別)

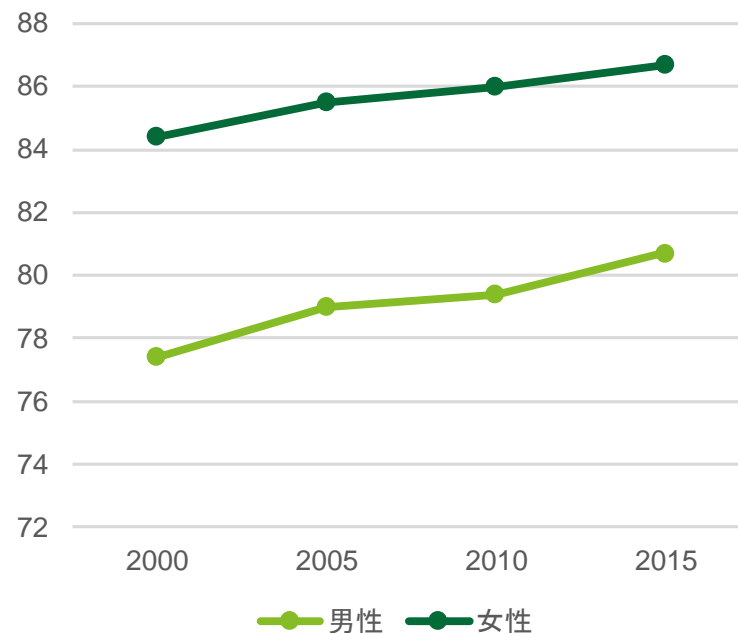
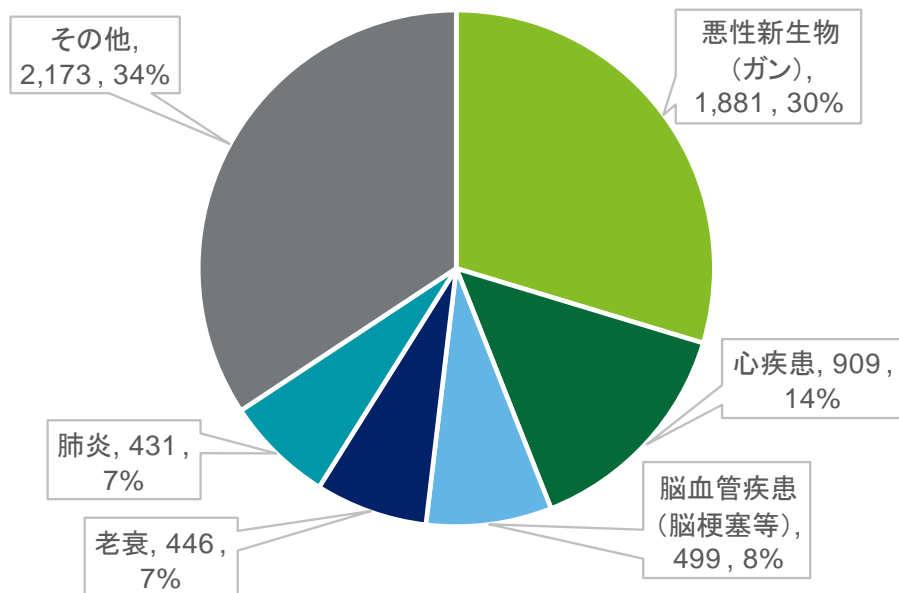
3. 出生・死亡： 3-3 死因別死亡者数・平均寿命

死亡者数の構成・平均寿命の推移

- 死因別死亡者数は、悪性新生物が約1,900人で最も多く、心疾患が約900人、脳血管疾患が約500人と、この3つで約半分を占める。
- 平均寿命は、男性が過去15年で3.3歳延びて80.7歳、女性が2.3歳延びて86.7歳と、それぞれ寿命が延びている。

悪性新生物 (ガン)	心疾患	脳血管疾患 (脳梗塞等)	老衰	肺炎	その他
1,881	909	499	446	431	2,173

	2000	2005	2010	2015
男性	77.4	79.0	79.4	80.7
女性	84.4	85.5	86.0	86.7



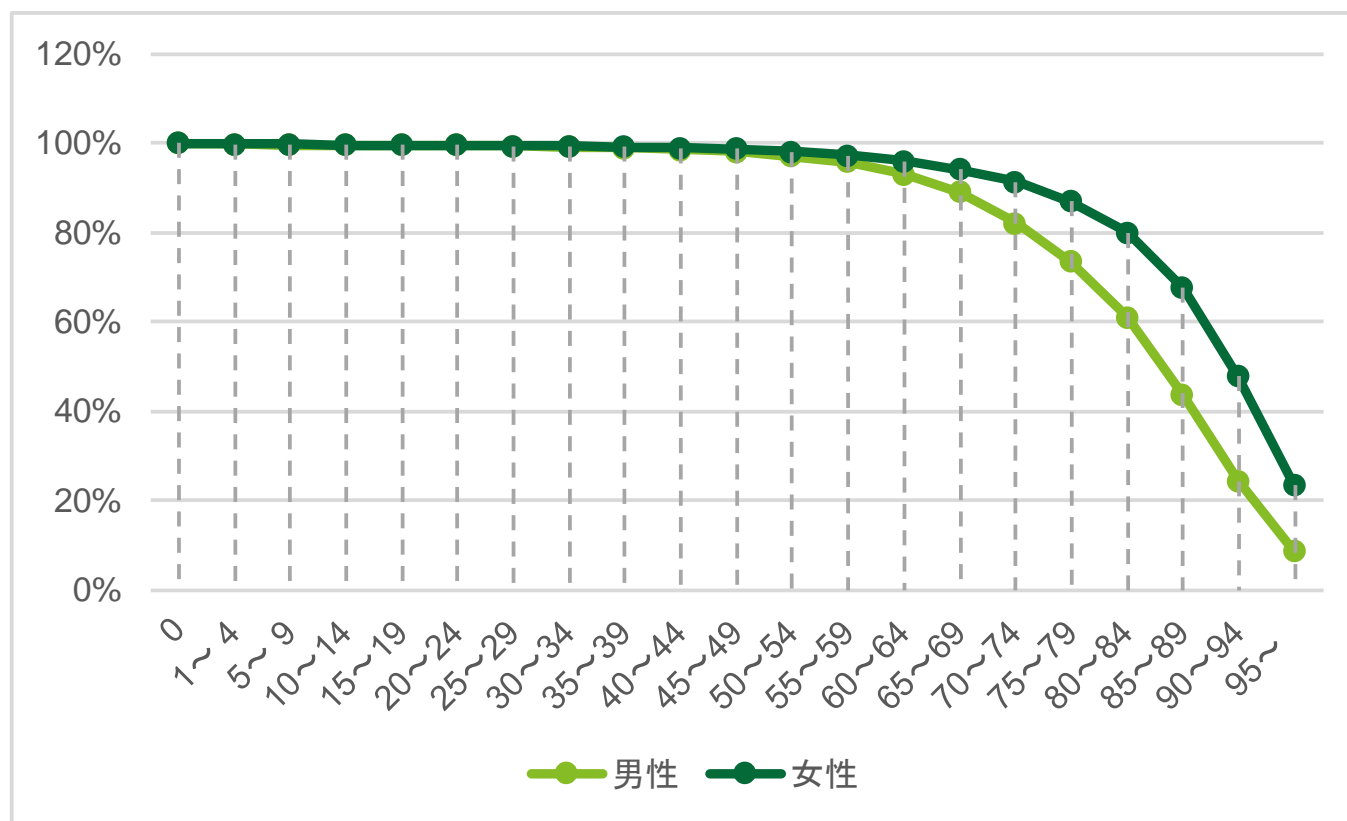
出所：東京都人口動態統計、市区町村別生命表

3. 出生・死亡： 3-4 死亡率・生命表

死亡者数の構成・平均寿命の推移

- 各年齢層の死亡率(次の年齢層に達するまでに死亡する確率)を男女別に整理した。
- 各年齢層ごとの生存率をグラフに示すと、60歳頃から女性の方が生き残る確率が高くなっている。

	男性	女性
0	0.002	0.001
1～4	0.001	0.001
5～9	0.000	0.000
10～14	0.000	0.001
15～19	0.001	0.001
20～24	0.002	0.001
25～29	0.002	0.001
30～34	0.002	0.002
35～39	0.003	0.002
40～44	0.006	0.003
45～49	0.010	0.006
50～54	0.014	0.008
55～59	0.028	0.013
60～64	0.044	0.019
65～69	0.077	0.030
70～74	0.107	0.049
75～79	0.169	0.080
80～84	0.286	0.154
85～89	0.441	0.293
90～94	0.648	0.513
95～	1.000	1.000



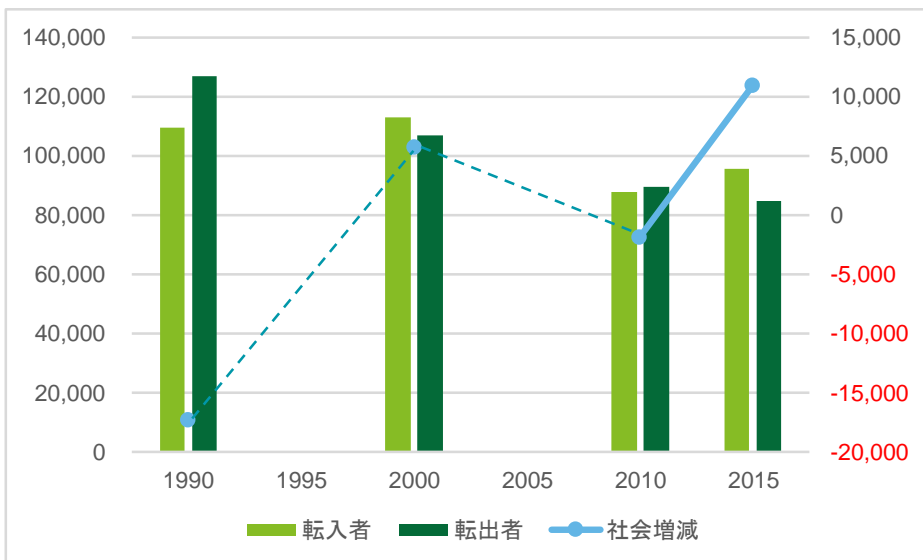
4. 転入・転出

4.転入・転出： 4-1転入・転出

転入・転出数及び社会増減の推移

- 国勢調査における転入・転出者数は、5年分でそれぞれ10万人前後であり、近年は転入超過傾向になっています。
- 住民基本台帳における平成30年の転入・転出者数を年齢別にみると、20代・30代で転入転出人数が多くなっており、特に20代で大幅な転入超過にあります。

	1990	1995	2000	2005	2010	2015
転入者	109,624		112,852		87,770	95,728
転出者	126,875		107,135		89,597	84,729
社会増減	-17,251		5,717		-1,827	10,999

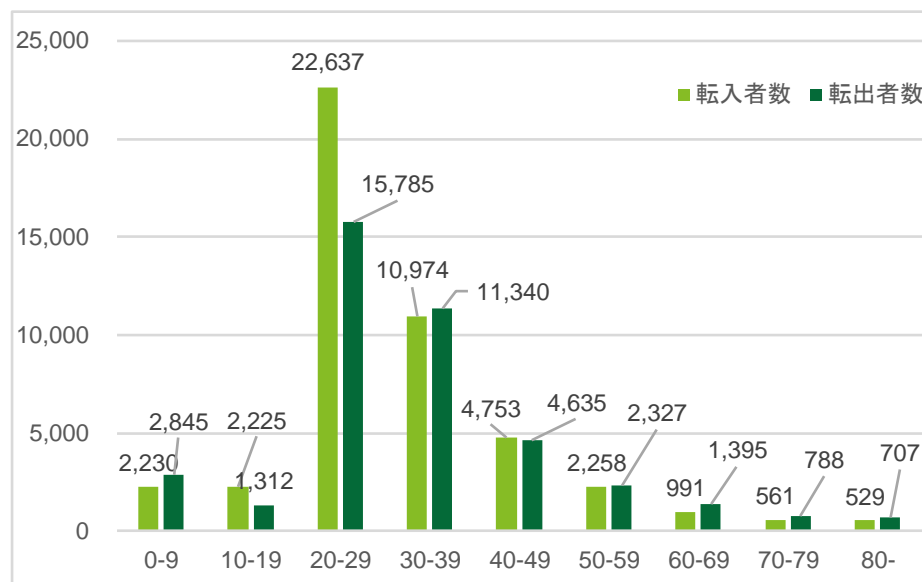


※ 95年および05年は調査を実施しておらずデータなし。折れ線グラフは10年ごとのデータを破線で結んでいる

出所：国勢調査

	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49
転入者数	2,230	2,225	22,637	10,974	4,753
転出者数	2,845	1,312	15,785	11,340	4,635

	50-59	60-69	70-79	80-
転入者数	2,258	991	561	529
転出者数	2,327	1,395	788	707



出所：東京都住民基本台帳人口移動報告平成30年

4. 転入・転出： 4-2人口増減・移動率(区全域)

5年間の人口増減および移動率

- 2014年1月と2019年1月の5歳区分の年齢別人口を比較すると、2014年で15-19歳および20-24歳の人口が、5年後の2019年で20-24歳および25-29歳となった際に、人口が大きく増加しており、移動率も大きくプラスとなっている。
- 一方、50歳以上の年齢層では、いずれも移動率がマイナス(人口流出過多)の傾向にある。

移動率とは、ある年齢層の人口における期間中の社会移動(増減)の割合のことである。移動がないと仮定した場合の人口(封鎖人口:④)と実際の人口(②)との差を元に算出している

算式	①2014.1人口		②2019.1		③単純増減		右表の-520は、左表の □枠の数値の増減	④2019.1封鎖人口		⑤封鎖人口との差		⑥移動率	
	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女
総計	701,416		729,534		28,118		総計	—		27,282		—	
合計	350,868	350,548	362,653	366,881	11,785	16,333	—	—	—	11,420	15,862	—	—
0-4	13,987	13,434	14,503	13,859	—	—	出生→0-4	—	—	—	—	—	—
5-9	12,914	12,516	13,467	12,926	-520	-508	0-4→5-9	13,949	13,424	-482	-498	-3.4%	-3.7%
10-14	13,277	12,458	12,947	12,623	33	107	5-9→10-14	12,909	12,511	38	112	0.3%	0.9%
15-19	13,655	12,979	14,120	13,329	843	871	10-14→15-19	13,273	12,451	847	878	6.4%	7.0%
20-24	19,015	18,591	21,183	22,574	7,528	9,595	15-19→20-24	13,643	12,968	7,540	9,606	55.2%	74.0%
25-29	27,813	25,621	27,469	26,862	8,454	8,271	20-24→25-29	18,977	18,575	8,492	8,287	44.7%	44.6%
30-34	28,000	25,737	27,861	25,892	48	271	25-29→30-34	27,762	25,594	99	298	0.4%	1.2%
35-39	29,692	27,269	27,179	25,643	-821	-94	30-34→35-39	27,937	25,693	-758	-50	-2.7%	-0.2%
40-44	31,925	30,111	29,549	27,521	-143	252	35-39→40-44	29,603	27,213	-54	308	-0.2%	1.1%
45-49	28,236	25,081	32,067	30,321	142	210	40-44→45-49	31,745	30,013	322	308	1.0%	1.0%
50-54	22,711	20,358	28,128	25,130	-108	49	45-49→50-54	27,966	24,933	162	197	0.6%	0.8%
55-59	19,902	18,066	22,285	20,143	-426	-215	50-54→55-59	22,402	20,192	-117	-49	-0.5%	-0.2%
60-64	23,106	21,465	18,800	17,528	-1,102	-538	55-59→60-64	19,344	17,826	-544	-298	-2.7%	-1.6%
65-69	21,912	21,881	21,226	20,595	-1,880	-870	60-64→65-69	22,093	21,051	-867	-456	-3.8%	-2.1%
70-74	17,945	19,894	19,407	20,789	-2,505	-1,092	65-69→70-74	20,227	21,220	-820	-431	-3.7%	-2.0%
75-79	12,494	17,002	15,154	18,525	-2,791	-1,369	70-74→75-79	16,024	18,929	-870	-404	-4.8%	-2.0%
80-84	8,251	13,548	9,735	14,898	-2,759	-2,104	75-79→80-84	10,384	15,650	-649	-752	-5.2%	-4.4%
85-90	4,223	8,922	5,194	10,467	-3,057	-3,081	80-84→85-89	5,895	11,465	-701	-998	-8.5%	-7.4%
90-	1,810	5,615	2,379	7,256	-1,844	-1,666	85以上→90以上	2,597	7,452	-218	-196	-5.2%	-2.2%

出所:住民基本台帳(各年1月1日時点)

4.転入・転出： 4-3人口増減(地域別)

5年間の人口増減

- 各地域において、2014年1月と2019年1月の5歳区分の年齢別人口を比較すると、どの地域も2014年で15-24歳の若者の人口層が、5年後の2019で20-29歳となった際に、人口が大きく増加している。
- 一方、大森地域及び調布地域では55歳以上の年齢層で、蒲田地域及び糎谷・羽田地域では30歳以上の年齢層で人口減の傾向にある。

年齢区分	1. 大森地域				2. 調布地域				3. 蒲田地域				4. 糎谷・羽田地域			
	2019.1		増減		2019.1		増減		2019.1		増減		2019.1		増減	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総計	243,928		11,798		189,023		7,557		218,583		7,084		78,000		1,679	
合計	122,413	121,515	5,520	6,278	90,053	98,970	2,971	4,586	111,536	107,047	3,117	3,967	38,651	39,349	177	1,502
0-4	5,124	4,810	—	—	3,924	3,780	—	—	4,073	3,955	—	—	1,382	1,314	—	—
5-9	4,497	4,257	-205	-193	3,914	3,862	67	134	3,707	3,479	-275	-335	1,349	1,328	-107	-114
10-14	4,145	4,065	18	13	3,690	3,579	116	151	3,775	3,576	-45	-67	1,337	1,403	-56	10
15-19	4,541	4,112	301	285	3,889	3,795	218	244	4,166	3,886	283	209	1,524	1,536	41	133
20-24	7,131	7,087	2,883	2,999	5,146	5,185	1,245	1,510	6,377	6,635	2,484	2,997	2,529	3,667	916	2,089
25-29	9,741	9,181	3,501	3,242	6,025	6,184	1,391	1,884	8,828	7,976	2,944	2,427	2,875	3,521	618	718
30-34	10,025	9,188	340	248	6,156	6,549	92	453	8,890	7,640	-154	69	2,790	2,515	-230	-499
35-39	9,471	8,918	-425	45	6,556	7,021	-24	179	8,415	7,337	-220	-173	2,737	2,367	-152	-145
40-44	10,293	9,264	-33	102	7,299	7,871	93	319	8,958	7,786	-135	-61	2,999	2,600	-68	-108
45-49	10,751	9,710	50	34	7,836	8,831	146	190	9,928	8,791	-1	-44	3,552	2,989	-53	30
50-54	9,258	8,110	21	87	7,352	7,520	30	0	8,568	7,162	-137	-27	2,950	2,338	-22	-11
55-59	7,173	6,396	-146	-67	6,071	6,036	-128	-122	6,753	5,780	-124	-17	2,288	1,931	-28	-9
60-64	6,099	5,675	-336	-123	4,799	4,780	-277	-148	5,892	5,336	-359	-185	2,010	1,737	-130	-82
65-69	6,956	6,864	-613	-317	4,807	5,200	-425	-184	7,091	6,396	-607	-278	2,372	2,135	-235	-91
70-74	6,462	6,874	-914	-387	4,600	5,451	-508	-211	6,180	6,256	-780	-376	2,165	2,208	-303	-118
75-79	5,072	6,311	-906	-489	3,457	4,580	-593	-290	4,762	5,475	-943	-426	1,863	2,159	-349	-164
80-84	3,209	4,994	-936	-694	2,397	3,712	-593	-497	2,947	4,457	-884	-632	1,182	1,735	-346	-281
85-90	1,708	3,372	-1,045	-1,023	1,423	2,954	-787	-783	1,525	3,038	-899	-915	538	1,103	-326	-360
90-	757	2,327	-593	-576	712	2,080	-492	-386	701	2,086	-551	-514	209	763	-208	-190

出所：住民基本台帳(2014年1月1日時点、2019年1月1日時点)

4.転入・転出： 4-4移動率(地域別)

5年間の移動率

- どの地域も、20-24歳および25-29歳になる層の移動率が大きくプラスとなっており、特に糎谷・羽田地域の20-24歳になる女性の移動率が高くなっている。
- 一方、60歳以上の高齢者では、移動率がマイナス傾向にある。また、蒲田地域及び糎谷・羽田地域では、30-39歳になる層と5-9歳になる層で移動率がマイナスとなっており、これは子供の生まれたファミリー世帯などが他の自治体へ転出していると考えられる。
- また、大森地域においても5-9歳になる層で移動率がマイナスとなっており、同じくファミリー世帯などの転出が考えられる。

年齢区分	1. 大森地域		2. 調布地域		3. 蒲田地域		4. 糎谷・羽田地域	
	男	女	男	女	男	女	男	女
出生→0～4歳	—	—	—	—	—	—	—	—
0～4歳→5～9歳	-4%	-4%	2%	4%	-7%	-9%	-7%	-8%
5～9歳→10～14歳	1%	0%	3%	4%	-1%	-2%	-4%	1%
10～14歳→15～19歳	7%	8%	6%	7%	7%	6%	3%	10%
15～19歳→20～24歳	68%	73%	32%	41%	64%	83%	57%	133%
20～24歳→25～29歳	56%	55%	30%	44%	50%	44%	28%	26%
25～29歳→30～34歳	4%	3%	2%	8%	-2%	1%	-7%	-16%
30～34歳→35～39歳	-4%	1%	0%	3%	-2%	-2%	-5%	-6%
35～39歳→40～44歳	0%	1%	2%	4%	-1%	-1%	-2%	-4%
40～44歳→45～49歳	1%	1%	3%	3%	1%	0%	-1%	1%
45～49歳→50～54歳	1%	2%	1%	1%	-1%	0%	0%	0%
50～54歳→55～59歳	-1%	0%	-1%	-1%	0%	1%	0%	0%
55～59歳→60～64歳	-2%	-1%	-3%	-2%	-3%	-2%	-3%	-3%
60～64歳→65～69歳	-4%	-3%	-4%	-2%	-4%	-2%	-5%	-2%
65～69歳→70～74歳	-5%	-2%	-2%	-1%	-4%	-3%	-5%	-2%
70～74歳→75～79歳	-4%	-2%	-4%	-1%	-6%	-2%	-5%	-2%
75～79歳→80～84歳	-6%	-4%	-3%	-4%	-6%	-5%	-6%	-6%
80～84歳→85歳～89歳	-9%	-8%	-7%	-6%	-9%	-8%	-9%	-9%
85歳以上→90歳以上	-4%	-1%	-2%	-1%	-4%	-2%	-7%	-3%

出所：住民基本台帳(2014年1月1日時点、2019年1月1日時点)